

# きたそらち

2020  
**11**月号  
No.236

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



10月12日、北育ち元気村花き生産組合音江支部が深川市立音江小学校で「花育授業」を実施し、参加した児童らが巨大なフラワーアレンジメントを制作した。

→記事の詳細は7ページ

農業振興を通じて  
地域社会へ貢献

20<sup>th</sup>

JAきたそらち創立20周年  
- SINCE 2000 -

## 目次

- 各地区で新米販売関連イベント 開催 …… 2～3
- 「JAきたそらち地域農業応援団」  
第3回応援団会議 …… 5
- JAきたそらち女性大学  
「カレッジあみていえ」第4講を開催 …… 5
- JA職員農作業実習報告 第1回 …… 10

JAきたそらちでは、  
ホームページとFacebookで、  
魅力満載の情報を発信中です！  
ぜひ、ご覧ください！

ホームページ



Facebookもチェック



# 農業者を応援！ こめっち新米&農産物フェア

10月17日、「農業者を応援！こめっち新米&農産物フェア」が深川市の生きがい文化センター前特設会場で開催された。今年は新型コロナウイルス感染症対策として、来場者を深川市民に限定し、各ブースには飛沫感染用ビニールシートや消毒液が設置された。また来場者にはマスクの着用と手指の消毒を呼び掛けるなど対策を徹底した。



開会にあたり、同イベント実行委員長の山下貴史深川市長は、「今年は主産物である米をはじめ、市内で生産する農産物総じて出来が良く、生産者の皆さま方には感謝するとともに敬意を表します。コロナ禍で秋のイベント等を満足に行えていない中、市民限定であるこのイベントを通し、地元の農産物を地元の方々にたくさん味わってほしい」と挨拶した。

会場では、深川産新米の特価販売が行われ、ふかがわまい生産組合が「地元の美味しいお米はいかがですか」などと穫れたての新米をPRしながら販売した。また来場者には炊き立ての新米が無料配布され、会場で販売された深川牛やふかがわポークの鉄板焼き、豚汁など「ご飯にあう逸品」と一緒に秋の味覚を楽しんだ。お米をテーマにしたアトラクションも企画され、新米すくいどりやお米重量当てゲームには多くの家族連れなどが参加した。

## 雨竜町の秋の味覚を 「秋の大収穫感謝祭・新米祭り2020」

9月27日、雨竜町で「秋の大収穫感謝祭・新米祭り2020」が開催された。今年は新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるために、会場を同町道の駅「田園の里うりゅう」から当JAの雨竜町野菜集出荷施設前に移し、またソーシャルディスタンスマークによる間隔を開けた整列やマスクの着用、消毒液による手指の消毒などを来場客に呼びかけた。

この日は、うりゅう米の新米が特価で販売されることもあり、心待ちにしていた来場者が開場前から長い列をつくり、「ななつぼし」と「ゆめぴりか」の5kg袋や10kg袋をいくつも購入していた。当JAの岩田清正専務や遠藤清明雨竜地区代表理事などJA役職員が店頭立ち、「どこよりも早いうりゅう米の新米販売です」と呼び込みPRを行った。

また、会場では先着150人限定で新米のすくい取りも行われ、町内から参加した男性は「コロナ禍で大変な時にでもこういうイベントを開催して頂けると明るい気持ちになる。地元の美味しい新米を沢山すくえたので、家族で食べて元気になりたい」と話す。



# 北竜ひまわりライス 新米大感謝祭2020

10月3日、北竜町農畜産物直売所「みのりっち北竜」前で「北竜ひまわりライス新米大感謝祭2020」が開催された。今年は新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用や手指の消毒、少人数での来場などと呼びかけた。

この日は、北竜ひまわりライスの「ななつぼし」「ゆめぴりか」「おぼろづき」「きたくりん」や、もち米「風の子もち」の新米が特価で販売されることもあり、開場前から来場客が長い列を作り、穫れたての新米をまとめ買いした。同イベントの実行委員である北竜ひまわりライス生産組合の生産者や、JA北清裕邦北竜地区代表理事などJA役職員が「穫れたての美味しいひまわりライスはいかがですか」などと呼びかけながら販売し、開場から30分ほどで完売となる商品もあった。

会場では、「北竜ひまわりライスの新米」や「燦燦ひまわり油」など町の特産品が当たるガラボン抽選会が行われ、また直売所内で行われた採れたて農産物の特価販売も人気を集めた。



## 山下深川市長

## 市内米検査場を巡回視察

10月6日、山下貴史深川市長による市内米検査場の視察が行われた。山下市長は、米の集荷作業が続く当JAの集出荷施設5か所を訪問し、令和2年産米の概況や集荷状況について確認した。

深川マイナリーでは、JA職員から「令和2年産米は近年にないほど低タンパク傾向で品質が良く、また収量も良い」などと報告を受けた。また他地区の検査場では、出荷に来ていた生産者に対し「毎日の農作業ご苦労様です。事故に気を付けて頑張ってください」と労いの言葉を掛けていた。

視察の最後に行われた新米試食会では、「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」「ななつぼし」の3品種の新米を食べ比べ、風味や食感を味わい今年の出来栄を確認した。



# 札幌駅で開催の「空知フェア」

## JAきたそらち産農産物をPR販売

9月30日から10月20日の間、札幌駅構内北口にある北海道どさんこプラザ札幌店で開催された「空知フェア2020」に当JA管内の深川市、雨竜町、北竜町が出展し、JAきたそらち産の新米や青果物、加工食品のPR販売を行った。同フェアの期間中は、空知管内の各市町村が農畜産物・加工品の知名度向上や消費拡大に向けたPRとして日替わりで出展し、JAや行政の職員などが収穫されたばかりの農畜産物や加工食品などを対面販売する。同フェアは平成20年より毎年開催されており、札幌市近郊などから多くの来場客が訪れる。

今年は新型コロナウイルス感染症対策として、飛沫感染防止用ビニールシートを設置し、試食販売は取りやめ、また来場客にはマスクの着用と手指の消毒などを呼び掛けた。

### 深川市 9月30日・10月9日



深川市の出展は同フェアのオープニングである9月30日と10月9日の2日間行われ、深川市職員や当JA職員などが参加した。

オープニングでは、ふかがわまい「ゆめぴりか」のすくい取りを行い、参加者には札幌市の「おむすびきゅうさん」店長である河原悟氏（ライスボールプレーヤー）からふかがわまいを使ったお手製の塩結びがプレゼントされることもあり、長蛇の列ができるほど人気だった。

10月9日の出展では、ふかがわまい「ふっくりんこ」をはじめ、深川産のリンゴやキュウリなどの青果物、「深川ポーク」の加工品、ふかがわ大福などを販売した。また「ふっくりんこ」の量り売りでは、会場に設置した精米機で精米された新米を販売し、昼過ぎには完売するほど大変好評だった。

【営農企画課 丸岡】

### 雨竜町 10月1日、2日



雨竜町の出展は、10月1日と2日の2日間行われ、雨竜町職員や雨竜町振興公社職員、当JA職員が参加した。

2日間の出展で、うりゅう米の新米（ななつぼし・ゆめぴりか）をはじめ、うりゅう米ななつぼしパックご飯、竜のひまつぶし（きな粉ねじり）などを販売した。

特別企画として行った「うりゅう米（ななつぼし）のすくい取り」は、新型コロナウイルス感染症対策を十分にした上で実施した。長蛇の列が出来るほど人気で、この日用意した1.3tが完売するなど大盛況だった。

来場客からは、「毎年このイベントを楽しみにしていて、今年はコロナの影響で来てくれないかと思った。イベントの実施ありがとうございます」など、たくさん感謝の言葉をいただいた。

【雨竜支所 高木】

### 北竜町 10月15日、16日



北竜町の出展は10月15日と16日の2日間行われ、北竜ひまわりライス生産組合や黒千石事業協同組合の組合員、北竜町振興公社職員、当JA職員が参加した。

2日間の出展で、北竜ひまわりライスの新米（うるち米：ななつぼし・おぼろづき・ゆめぴりか・きたくりん、もち米：風の子もち）をはじめ、黒千石大豆関連商品、燦燦ひまわり油、田からもちおかき、北竜そば（乾麺）などを販売した。

特別企画として「北竜ひまわりライス（きたくりん）のすくい取り」を行い、長蛇の列ができるほど好評だった。

【北竜支所 渡辺】

# 『JAきたそらち地域農業応援団』 第3回応援団会議



10月5日、准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第3回応援団会議が開催された。今回は団員8名が出席し、音江地区にある「アグリ工房まあぶ」や「(株)藤谷果樹園」で、そば打ち体験やアップルパイ作り、リンゴ狩り体験などを行った。

そば打ち体験では、素人そば打ち段位認定制度の有段者である金融共済部の井上正恵部長によるそば打ちデモンストレーションの後、団員二人一組で協力しながら多度志地区産のそば粉を使用したそば打ちに挑戦した。初めて体験するという団員が多く、生地を練り方や伸ばし方、切り方に苦戦しながらも、1時間半ほどそば打ちを楽しんだ。

そば打ち体験を終えた後は、金融共済部渉外課職員より遺産相続に関する注意点や年金共済などJA共済の商品説明が行われた。昼食時にはJAきたそらち産新米3品種の食べ比べが行われ、それぞれの品種の特徴や違いを味わい、また挽きたて・打ちたて・茹でたての新そばを堪能した。

午後からは(株)藤谷果樹園を訪れ、同園代表取締役の田川大輔氏より栽培している品種や美味しいリンゴの見分け方などの説明を受けた後、リンゴ狩りを楽しんだ。

参加した団員は、「旬の農産物を自分の手で収穫したり加工したり、また食べることが出来て満足」「家族や友人に、地元にはこんなにも美味しいものがあるということを伝えたい」「地産地消の素晴らしさを改めて実感した」などと感想を話す。



## JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」 第4講を開催



農業  
振興部

10月8日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」の第4講が開催され、受講生20名が参加した。第4講は「きたそらちの米を知ろう」と題し、深川マイナリーと精米施設の見学、新米試食会が行われた。

深川マイナリーでは、稼働中の施設内で籾の集荷から色彩選別機での調製作業まで一連の工程を見学した。JAの担当職員から施設の役割や籾の乾燥方法などの説明を受け、またサイロに貯蔵された米が実需者のニーズに応じて籾擦りされていることを学んだ。

精米施設では、施設内が見えるようガラス張りにされた見学通路などから精米工程を見学し、JAの担当職員から最新鋭の精米機の導入で精米技術が向上していることなどの説明を受け、安心・安全で美味しい産地精米のこだわりを学んだ。

新米試食会では、事務局より当JA管内の米の作付状況や品種特性などの説明を受けた後、トレーに品種名が伏せられて並べられた「ななつぼし」「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」「きたくりん」「おぼろづき」の5品種をそれぞれ食べ比べ品種当てに挑戦し、初めて口にするという品種もあるなど、苦戦する様子も見られた。品種名が明かされた後は、事務局が用意した豚汁を食べながら自分好みの品種を探し、参加した受講生は、「普段口にする機会がない品種を食べたことで、自分好みの品種を知ることができた」と感想を話す。



【営農企画課 佐藤】

# 深川市内小学校 稲刈り体験学習



農業  
振興部



9月24日 深川小学校（農業センター）



9月28日 一巳小学校（農業センター）



9月29日 北新小学校（松本孝一氏宅）

深川市内の各小学校で9月24日から稲刈り体験が行われた。例年は5月に児童たちの手で植えた稲を刈っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により本年度については稲刈り体験のみ実施した。児童たちは鎌による手刈りを行い、受入農家や青年部員から丁寧な指導を受けながら刈り取った。児童たちは「手刈りは大変だけど楽しい」と作業を楽しみながらも食べ物栽培する苦労を学んだ。

【営農企画課 石野】



10月2日 多度志小学校（竹内誠氏宅）



10月5日 納内小学校（川中孝之氏宅）



10月16日 音江小学校（田中秀規氏宅）

## 農泊ツアー受け入れ開始



農業  
振興部

9月22日、札幌市の（株）シーピーツアーズ（北海道中央バスグループ）のツアー企画「深川のプルーン狩りとアップルパイ、スムージー作り体験と町巡りツアー！」が深川市で開催され、札幌市近郊から19名が参加した。

この日は、音江地区の（株）はやし果樹園でプルーン狩りやアグリ工房まあぶで加工体験、当JAの精米施設と深川市多目的低温倉庫の見学が行われた。両施設を見学した参加者は、米の種類が多さ、フレコンの大きさに驚きながらも担当者から丁寧な精米処理や販売、深川市の防災備蓄品保管庫も兼ねている多目的低温倉庫の役割などを真剣に聞いていた。また、ふかがわまい「ななつぼし」と「ゆめぴりか」の新米試食も行われ、参加者からは「甘みがあって美味しい」「私はななつぼしの方が好き」などと声上がり、新米を購入したいと「ふるさと納税」の手続きを聞いてくる参加者もいた。

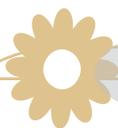
当JAと深川市では昨年度、「深川市農泊推進協議会」を設立し、農山漁村において地元の人々との交流を楽しむことができる農山漁村滞在型旅行「農泊ツアー」実施の可能性を旅行会社と模索した中で、本年より受け入れを開始している。今後開催されるツアーでは、新米試食のほかに精米施設内で米の販売を行いながら深川産米のPRを行う予定。

【営農企画課 墓田】



## 北空知 広域連

## 音江小学校 「花育事業」



## フラワー アレンジメント制作



10月12日、北育ち元気村花き生産組合音江支部（内藤敬人支部長、会員20名）が深川市立音江小学校3・4年生を対象に「花育授業」を実施した。

同授業は、当JA管内で花きの生産が盛んな音江地区の子ども達に実際に花に触れて身近に感じてもらおうと毎年趣向を変え一昨年より実施している。今年は3・4年生合わせた17名が協力し、同地区産の花材約400本を使い高級ホテルのロビー花を思わせるような巨大なフラワーアレンジメントを同校1階のホールに制作した。

内藤支部長が同地区で生産している花きの種類や集荷から出荷までの流れなどを説明した後、児童たちはアレンジメント制作に取り掛かった。内藤支部長を中心に同支部の会員9名が指導にあたり、花材の切り方や挿し方、アレンジメントを綺麗に制作するための空間の使い方などを児童に説明した。児童は「難しいけど楽しい」「どんどん綺麗になっていく」などと話しながら、同支部が提供したダリアやオーニソガラム、シヌアータ、鈴バラなど13品目を組み合わせ、1時間程でアレンジメントを完成させた。

内藤支部長は、「地元で生産される花がどんな風に使われているかを知ってもらえてよかった。この体験が子供たちの記憶にずっと残ってくれたら」と話す。



## 総務部

## 深川西高生 フィールドスタディーでJAを訪問



10月6日と7日の2日間、高校生のためのフィールドスタディーが深川市内で実施され、当JAは北海道立深川西高等学校の1年生15名と同2年生11名を受け入れた。

フィールドスタディーは、進学を機に地元を離れることが多い高校普通科の生徒に対して、将来的な地元での就職を見据え地元企業について知る機会を増やすため、北海道が中心となり本年より実施されるもので、同校の生徒は深川市内の企業等を訪問し、職場体験や施設見学などを行った。

当JAでは、営農センターにて協同組合や当JAの業務内容、経営理念などについて講義した後、稼働中の深川マイナリーと精米施設を見学し、主産物であるお米を通して地域社会とのつながりについて学んでもらった。生徒は、普段目にするのが少ない粳の状態から、家庭にある精白米となるまで一連の過程に興味津々だった。

なお、11月にはクラーク記念国際高等学校に対しても実施を予定している。



【人事課 廣田】

# 退任のごあいさつ



前会長理事

早崎 優美

今年も早や、紅葉鮮やかな清秋の候を迎え、組合員の皆様には、ご健勝でお暮らしのこととお慶び申し上げます。

この度、連合会の役員改選にあたり、北海道信連経営管理委員会副会長を任期満了で退任するに伴い、きたそらち農協会長理事についても、辞任すること致しました。

昭和60年 旧納内農協理事に就任、平成6年 納内農協組合長代理理事、平成12年 きたそらち農協発足以後は、納内地区代表理事、平成14年 代表理事専務、平成19年 代表理事組合長、平成26年 空知管内農業協同組合長会長、平成29年 北海道信連経営管理委員会副会長として、約36年間、農協役員として務めさせていただきました。長きに亘り、組合員・役職員様は元より、各行政、各種団体、市民・町民の皆様には、格別なご厚誼を賜りましたことに、衷心よ

り厚くお礼申し上げます。

さて、国内経済は、個人消費等に支えられ、景気は緩やかな回復基調が見込まれておりましたが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、経済活動の著しい低迷が生じています。農業を取り巻く環境も、多大な影響を受けている状況であります。

このような情勢の中、新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定され、食料の安定供給確保の観点から、食料自給率を現在の37%から、10年後45%とする目標が掲げられました。北海道農業は、多面的機能の発揮のうえに我が国の食料基地としての使命が一層高まっております。

きたそらち農協は『農業振興を通じて地域社会へ貢献すること』を存在意義として、持続可能な農業経営の確立と生産環境の保持、そして協同の活動を通じて生涯安心して暮らせる社会を築くことを使命として運動を推進して参りました。

引き続き、第7次農業振興計画・農協経営計画が、本年4月の通常総代会において承認されました。

農業振興計画では、目標とする『農業振

興を通じて地域社会へ貢献すること』を経営理念として、「日本一の米産地になる」とをビジョンとして、「農業所得の向上と持続可能な農業経営の確立」、「担い手の育成確保と地域農業の活性化」、「農業応援団・パートナーづくりと組織基盤強化」を重点目標として定めました。農協経営計画では、「より高いレベルの三つの安定への挑戦（経営基盤強化）」、「アクティブ・メンバーシップの確立と協同組合運動の再構築（組織基盤強化）」、「共育・共働・共創による協同組合運動の連結者育成（人づくり）」を重点課題として決めました。

これらの実現に向けて、協同理念『一人は万人のために、万人は一人のために』の意義を深く再認識され、役職員一丸となつて邁進されますよう願って止みません。

結びになりますが、組合員の皆様のご健勝と益々のご繁栄、あわせて、きたそらち農協の限りないご発展をご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

## 農業教育振興基金として早崎前会長より寄付

10月5日、9月末日をもって当JA会長理事をご勇退された早崎優美氏より、農業教育振興基金として寄付をいただいた。

早崎氏は、旧納内町農協理事より36年の長きにわたりJA事業に携わってこられ、団体役員をご勇退されたことを機に、これまでお世話になった地域やJAへの感謝の思いで寄付をされ、「ぜひ地域の発展に役立ててほしい」と述べられた。

柏木孝文組合長は「これまで長きにわたりJA役員を務められ、地域だけでなく全道でご活躍されたことに感謝申し上げます。前会長の思いを大切にぜひ活用させていただきます」と感謝の言葉を述べた。

【人事課 廣田】



転載不可

# JA職員 農作業実習報告 第1回

当JAでは、人財育成プログラムの一環として、入組2年目の若年職員を対象とした農作業実習を実施いたしました。

近年、農家子弟以外の新規採用職員も増え、農業に対する接点も乏しいことから、農業体験を増やすこと、さらに組合員の想いを直接職員へ伝えていただくことを目的に、JA非常勤役員宅に実習をさせていただきました。各実習生の感想と今後の抱負をご報告させていただきます。(農作業実習報告は第1回～第5回に分け掲載いたします。)

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
<b>総務部 総務経理課 小石川 正 (平成31年4月入組)</b>			
①深川支所一巳地区 松田 直人 地区代表理事宅	②令和2年5月22日～5月27日	③田植え作業、牛舎給餌・清掃作業	
<p>④田植え作業では、主に苗箱の洗浄を行いました。中腰での作業だったため身体的に大変でした。またこれまでは田植え作業に対して漠然としたイメージしかありませんでしたが、苗箱の補充や洗浄、肥料の運搬などたくさんの工程と労力で作業が成り立っていることを知りました。</p> <p>牛舎での作業では、牛が思ったよりも人慣れしており、給餌の時以外でも近づいてくることに驚きました。元々動物が好きなので、給餌や牛舎の清掃など牛の世話を経験出来たことが大変嬉しかったです。</p> <p>実習を通して、作業をスムーズに行うためにはコミュニケーションを取ることが必要であることを感じたので、今後の業務に活かしていきたいです。また自分の業務上、実際に圃場で組合員と接する機会がなかったため、今回の実習は非常にいい経験となりました。ありがとうございました。</p>			
<b>雨竜支所 営農課 堀口 敦暉 (平成31年4月入組)</b>			
①深川支所一巳地区 松田 直人 地区代表理事宅	②令和2年5月22日～5月27日	③田植え作業、牛舎給餌・清掃作業	
<p>④田植え作業では、何十枚にも重なった苗箱を落とさず運ぶことが大変で、また苗箱の交換作業もスムーズに出来ず苦勞しました。苗運びや田植え機での移植作業以外にも行う作業が多いことを知り、人手が少ない中での作業は大変だということを考えさせられました。</p> <p>牛舎での作業では、餌の種類のに驚きました。また近くで牛を見たことがなかったため少し感動しました。</p> <p>非農家出身で、初めての作業が多く、農業の大変さを知る実習となりました。また田植えの一連の流れや牛の扱い方など、実際に現場で作業しないとわからないことが多く、とてもいい経験になりました。自分が普段担当している地区ではなく、とても緊張しましたが、パートの方々が話しかけてくれたので、楽しく作業でき、コミュニケーションの大切さを改めて実感しました。今後の自分の業務でも実習の経験を忘れずに頑張っていきます。</p>			



# 営業時間変更のお知らせ

## 【金融共済部】

11月からATMの稼働時間が下記の通りとなります。

	ATM稼働時間（11月～翌年3月）		
	平日	土曜日	日曜日・祝日
本所	9:00～17:30	9:00～17:00	9:00～17:00
金融共済音江支所		稼働しません	
金融共済深川支所			
金融共済納内支所			
金融共済多度志支所			
金融共済雨竜支所			
金融共済北竜支所			
北竜町COCOWA			
金融共済幌加内支所			

※12月31日及び1月1日～3日はATMは稼働しません。各店舗（窓口）平日9:00～16:00

## 【経済部 燃料課】

11月からSSの営業時間が下記の通りとなります。

SS営業時間（11月～翌年3月）		
セルフ	音江	8:00～19:00
	深川	
	イチャン	
フル	納内	8:00～18:00
	多度志	
	北竜	
	幌加内	

## 【営農センター】

11月から営農センターの営業時間が下記の通りとなります。

営農センター営業時間（11月～翌年3月）	
農業振興部・担い手支援室	9:00～17:00
販売部	
経済部資材課・資材推進課	
深川支所	

JAきたそらちでは、組合員・お客様に安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症対策として以下の対策を行っております。

- 全職員のマスク着用、手洗い、アルコール消毒の徹底
- 各事業所・店舗の入口に消毒液、窓口に飛沫感染防止シートを設置
- 待合場所の椅子の間隔を開けて設置

ご不便とご迷惑をお掛けしますが、来所・来店される皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(C)よい食P

# 金融共済部 貯金課からのお知らせ

ちよ JAきたそらち 11/9~12/25 貯 っといいい 得

## 定期貯金

正組合員及び准組合員様限定  
または  
新たに准組合員になられる方

おトク



適用金利

年 0.052%

JAカード一体型を新規でお申し込み  
または現在お持ちの方は

さらに 0.01% 上乘せ

- ❖ 預入期間: 1年以上
- ❖ 預入金額: 10万円以上

窓口足を運ばなくても  
お得な定期貯金にお預入れ!



## ATM定期貯金

期間中、当JAのATMでスーパー定期貯金を  
お預入れいただくと 年 0.032% の  
特別金利を適用いたします。

### 現金による受入の場合

1契約のお預入れは100万円まで

### 貯金振替による受入の場合

キャッシュカードが必要です。

- ① 同一名義人口座からの振替  
1円単位で¥9,999,999円まで
- ② 上記①以外の口座から振替  
1日のカード出金限度額内

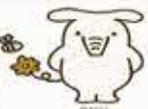
(当JAの総合口座通帳または定期貯金通帳が必要になります)

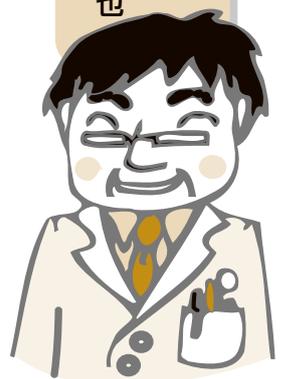


JAきたそらち

本 所 0164-22-6618  
音江支所 0164-25-1111  
深川支所 0164-22-2171  
納内支所 0164-24-2211

多度志支所 0164-27-2111  
南竜支所 0125-77-2331  
北竜支所 0164-34-2280  
幌加内支所 0165-35-2024





ウイルスの季節性には、気象、ウイルス伝搬に影響する人の行動、感受性者の割合などの要因が関与しています。新型コロナウイルス感染者が集団免疫に必要なだとされる50〜70%に程遠い今の状態では、秋から冬に増加してくることが予想されます。新型コロナウイルス感染者と濃厚接触している子供は、保健所から専門の病院を紹介されるため、診療所を受診することはないと思われます。市中感染が子供に拡大してしまった場合には、症状は感冒と同じため、診断は非常に困難となります。それまでは、子供の多くは同居している両親を含めた大人から感染しているため、大人の2週間の感冒の有無の問診が非常に重要となります。

子供と同居している大人に風邪症状がある場合、大人の症状出現時期、大人が感染させる可能性の高い時期（発症3日前〜発症7日後）、大人と子供の接触時期、子供の潜伏期間などを考慮して、今の子供の症状が新型コロナウイルス感染であるかどうかを考えます。子供の症状が新型コロナウイルス感染である可能性が否定できない場合は、子供が重症でない限り、大人の新型コロナウイルス感染の診断を待ってから対応を考えます。

子供の新型コロナウイルス感染の症状は臨床的に、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、インフルエンザより軽症と考えられています。（気管支、細気管支に新型コロナウイルスの感受性のあるACE2受容体が少ないため）

一般的に呼吸器感染症で二次病院に入院を依頼するか否かは、子供の呼吸状態により判断します。聴診所見にあまり異常がなく、風邪症状と呼吸障害がある場合は、胸部レントゲン写真、白血球数、CRP（炎症反応の指標）などを参考に新型コロナウイルスによる肺炎を疑った場合はPCR検査を行える専門の2次医療機関を紹介することになると思われます。

生まれてきた子供にとって新型コロナウイルスを含め季節性コロナウイルスは全て新型のコロナウイルスになります。子供には、コロナウイルスに過剰な反応をしないでコロナウイルスを排除する防御機構が備わっていると思われます。新型コロナウイルスが世界から撲滅されない限り、今の子供が大人になるまでに新型コロナウイルスに何度も感染し免疫を次第に獲得していきます。そして今の子供たちが大人となって新型コロナウイルスに再感染しても今の大人と違って過剰に反応せず感冒として終わると思われます。

# 農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会  
代表理事会長 小野寺 俊 幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で73年を迎えました。戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

今年は新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウイルスが、世界的に感染拡大しており、こうしたコロナ禍において、道民に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者（生活者）の関係のあり方を見つめ直すいただくため、「AGRIACTION！ HOKKAIDO（アグリアクションホッカイドウ）」と題した取組みをJAグループ北海道が一丸となって行っています。

「AGRIACTION！ HOKKAIDO（アグリアクションホッカイドウ）」は、主に次の3つをテーマとした行動であり、まず一つは日頃、北海道産農畜産物を食べていただいている感謝をしっかりと伝えること、次に食料自給率の重要性に関する理解促進と具体的な行動変容を求めること、最後により多くの方に気軽に農業に接する機会を増やしてもらう（パラレルノーカー）ための国民に向けた情報発信であり、第29回JA北海道大会で決議いたしました「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」と「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」、「次代につなげる協同組合の価値と実践」の一環として、しっかりと取り組んで参ります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。





9月28日、JR札幌駅にて「フラワーキャンペーン～道産花き日常生活にプラス1～」を開催いたしました。本キャンペーンは、北海道経済連合会とJAグループ北海道の主催で、新型コロナウイルスの感染拡大により需要が落ち込んでいる北海道産花きの需要を喚起することを目的として、お越しいただいた道民の皆さまに北海道産の花1,000束を無料配布いたしました。小野寺会長（JA北海道中央会）、真弓会長（北海道経済連合会）に加え、北海道のご協力のもと、鈴木知事にも応援に駆けつけていただき、1,000束の花全てを配布することができました。

皆さまも是非、ご家庭で北海道産の花を飾っていただくとともに、大切な人への贈り物などでも道産の花を取り入れて、花のある、そして華のある日常生活を楽しんでください。

JAグループ北海道は、「AGRI ACTION! HOKKAIDO」（アグリアクション北海道）の一環として、今後も北海道産花きの消費拡大に取り組み、花き生産者を含む全道の生産者を応援していきます。



## JA北海道信連

8月25日、バイオマスリサーチ株式会社（本社：帯広市）と北海道信連、農林中央金庫は酪農・畜産業へのバイオガスプラント普及に向けた連携協定を締結しました。3者が連携することにより、プロジェクトチームの組成、事業性評価とファイナンスメニューの構築に取り組み、ふん尿処理にかかる営農課題解決に加え、循環型で持続的な営農体系の確立と、エネルギーの地域循環の実現を目指してまいります。



## JA共済連北海道

JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。

街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に活動しております。

今年度も札幌地区では9月23日に共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全運転を呼びかけました。



## ホクレン

ホクレンは、「ホクレン大収穫祭」の一環として、北海道米「ゆめぴりか」計4tと、北海道産馬鈴しょ、玉ねぎそれぞれ計500kgを、札幌市内の児童福祉施設10カ所に寄贈しました。寄贈は今年で36回目。今年は新型コロナウイルスの影響で、札幌三越での会場販売が取り止めとなったことから、ホクレンの篠原末治会長が札幌市役所を訪れ、町田隆敏副市長に目録を手渡しました。



## JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。10月発刊の秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧ください。アンケートへのご協力をお願い致します。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



# クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp

1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	D	
10			11	12		13
		14		15		
16	17		18		19	
	20	21		22		
23			24			
25			26			27
		A				C

A	B	C	D
---	---	---	---

## 【タテのカギ】

- 2 図画・工作の略
- 4 42,195メートル=42.195〇〇メートル
- 5 勤め先・舞台などに出る番
- 7 笑った時に、頬つべたにできる小さなくぼみ
- 9 飼いならした鶏を使ってアユなどを獲る伝統漁法
- 10 子どものために書かれた物語、グリム〇〇〇
- 11 交通規制により車両の進行を一つの方向に限定、一方〇〇〇〇
- 13 降り積もった雪を取り除く作業
- 15 秋になると海から川に遡上する魚、サーモン
- 17 鳥類などのかたい口先
- 19 紫陽花
- 21 読書の秋は〇〇を読む
- 22 頭部の前面、目や鼻、口が付いている場所
- 23 海のミルクと言われる貝の一種、オイスター
- 24 横型の信号機では左、縦型の信号機では下の色

## 【ヨコのカギ】

- 1 一定の地域の状態を縮尺して平面に描いた図
- 3 海や湖などで岸から遠く離れた場所
- 5 師匠から教えを受ける人
- 6 人や動物が喉から出す音
- 8 年離れた女性
- 10 岩石中に生じた空洞、ほら穴
- 12 中国から日本へ伝来した文字
- 14 暴風・洪水・地震・火事などの災害を防ぐこと
- 16 木や鉄などで出来た囲み、フレーム
- 18 転がる石には〇〇が生えぬ
- 19 暑いと体から〇〇が出る
- 20 国内のある一定の地域、⇄中央
- 22 植物の実、果物
- 23 中に物を入れて持ち運ぶ用品、バッグ
- 24 みそ汁の具や青のりの代用として使われる緑色の海藻
- 25 海や川が陸と接する境目
- 26 2016年に夏季五輪が開催されたブラジルの都市、〇〇デジャネイロ
- 27 裁縫する際に、針に通して使うもの

9月号の正解は

「サンマ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 曾我 紀雄 様  
 深川市 浦山三枝子 様  
 北竜町 石川 キヨ 様

## 応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切11月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和3年1月号に掲載します。

【送付先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: [http://www.ja-kitasorachi.com/application\\_form/](http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/)

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

# 十月俳句

## ● 雨竜俳句会

昨日のうさ消し去るごとく髪洗ふ  
 蜘蛛の囿に窓をとられる夕べかな  
 草の実や噂こそこそ飛び散りて  
 夕焼けや天女の衣のグラデーション  
 隠元豆良き艶なして初出荷  
 豊の秋日々の大いに報われり  
 夕暮れてちちろの独唱一人聞く

有田 茉莉  
 大林アヤ子  
 北川 満江  
 小山 邦男  
 松木 五月  
 宮武めぐみ  
 吉見サヨ子

## ● 「道」俳句会 北竜支部

明かるさは古今の根延う大刈田  
 鹿の目に映りし我れは獣ども  
 技ありを吊し座らせ種瓢  
 武骨なる文字の我が句碑鳥渡る  
 稲刈り機操る人は都会の子

山本 玲子  
 阿部れい子  
 吉尾 広子  
 山岸 正俊  
 山下 好晴

## ● 土筆俳句会

穿き捨つる靴の中まで炎天下  
 あけくれの音定まりて十月来  
 写生会画版抛って追ふバツタ  
 刈りあげて伊万里に挿せる菊供養  
 百越ゆる手かず通りて今年米  
 足早にたどる家路や秋夕焼け  
 モカ色の小犬誘う野菊叢

高尾美津子  
 池田 美知  
 坂本 朱実  
 山川 輝子  
 南川富美子  
 佐藤英三子  
 小橋 厚子

## 第10回理事会 〈令和2年10月7日開催〉 以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 上半期決算棚卸立会における意見書について
3. 上半期決算定期監査報告について
4. 内部監査報告について
5. 組合員の加入脱退について
6. 財務報告及び事業実績について
7. 固定資産の取得ほかについて
8. 職員の人事及び業務事故について
9. ALM委員会の報告について
10. 貸出金の貸付報告について
11. クミカン貸越極度額の設定について
12. 疑わしい取引の届出状況について
13. 令和2年度 JA共済コンプライアンス点検結果について
14. 令和2年度 土地改良事業に係る入札結果について
15. きたそらち農協そば乾燥調製施設色彩選別機導入に係る入札結果について
16. 令和2年産 水稻の9/15現在における作柄状況について
17. 令和2年産 米集荷状況について
18. 令和2年産 農産物集荷状況について
19. 米在庫状況について
20. 販売未収金について
21. 畜産物の販売状況について
22. 平成30年産 もち米の最終精算について
23. 青果・花き販売集荷実績について
24. 令和元年産 玉葱最終精算について
25. R3温材価格設定について
26. R2春耕期営農軽油対策結果について
27. 経済部事業実績について

- 議案第1号 情報システム運用管理規定の一部改正について
- 議案第2号 令和2年度7月期ディスクロージャー（半期開示）について

- 議案第3号 営農センターの増築について
- 議案第4号 理事に対する貸出承認について



※今月号の新風は休載致します。

### 組合員の動き

(令和2年9月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,389	14	56	1,347
	団体	86	3	0	89
准組合員	個人	6,040	65	203	5,902
	団体	331	1	18	314
正組合員戸数		988	1	24	965



## JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和2年9月実績

○累計（R1.12～R2.9）

発電電力 **50,672kWh**

発電電力 **481,308kWh**

計画対比 + 9,333kWh

計画対比 + 108,870kWh

前年対比 △ 5,260kWh

前年対比 △ 3,853kWh

# 金融共済部 融資課からのお知らせ

新車・中古車・バイクの購入・車検・修理の費用、運転免許の取得に!

キャンペーン期間  
令和3年1月29日(金)まで

## JAMマイカーローン

### キャンペーン対象条件

・正組合員および准組合員の方  
または  
新たに准組合員になれる方

(借入対象者)  
地域に根ざし継続して安定した勤務先からの収入がある方、  
継続して安定した収入がある方  
(借入金額) 10万円以上1,000万円以内  
(借入期間) 6ヶ月以上10年以内  
(必要書類)  
運転免許証等、健康保険証等、源泉徴収票等、見積書等、  
その他JAが必要とする書類



### キャンペーン利率

※変動金利

現在の店頭貸出利率

年**2.50%**

▶ **1.70%~1.30%**

※保証：当JAが指定する保証期間の保証をご利用いただけます。別途、保証料が必要となります。(保証利率：年0.5%~0.85%)

### さらに

①~④をご利用中または新たにご利用で、  
キャンペーン利率から、

1項目ごとに**0.10%引き下げ!**

①給与振込 ②公共料金の口座振替  
③JAカード ④JAネットバンク  
⑤JAローンをご利用中の方  
⑥年金受取を予約して頂ける方、  
又は年金振込をされている方

趣味や旅行、結婚資金に!使い道いろいろ!

## JAFreeローン



資金使途確認書類は  
なくてもOK!

### キャンペーン対象条件

期間中、フリーローンにお申込みされた方

(借入対象者)  
継続して安定した収入がある方  
(借入金額) 10万円以上500万円以内  
(借入期間) 6ヶ月以上10年以内  
(必要書類)  
運転免許証等、健康保険証等、源泉徴収票等、その他JAが必要とする書類

### キャンペーン利率

現在の店頭貸出利率

年**5.275%**

▶ **4.80%**

### キャンペーン利率

住宅所有者の方は  
さらに引き下げ!

**4.10%**

入学金や授業料・仕送り・アパート家賃に!

## JA教育ローン



### キャンペーン対象条件

・正組合員および准組合員の方  
または  
新たに准組合員になれる方

(借入対象者)  
地域に根ざし継続して安定した勤務先からの収入がある方、  
継続して安定した収入がある方  
(借入金額) 10万円以上500万円以内  
(借入期間) 6ヶ月以上15年以内(学業期間+9年)  
(必要書類)  
運転免許証等、健康保険証等、源泉徴収票等、納付済知事・  
会費通知書・学生証等、その他JAが必要とする書類

### さらに

①~④をご利用中または新たにご利用で、  
キャンペーン利率から、

1項目ごとに**0.10%引き下げ!**

①給与振込 ②公共料金の口座振替  
③JAカード ④JAネットバンク  
⑤JAローンをご利用中の方  
⑥年金受取を予約して頂ける方、  
又は年金振込をされている方

### キャンペーン利率

※変動金利

現在の店頭貸出利率

年**2.60%**

**1.80%~**

▶ **1.40%**

詳しくは、お気軽にお問い合わせください!

・金利変動等の変化により金利を見直しさせていただく場合がございます。  
・返済方法等、ご融資の詳細については、窓口へお問い合わせ下さい。  
・審査の結果、ご希望に沿えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

**JAきたそらち**

本所 TEL 0164-22-6618 多度志支所 TEL 0164-27-2111  
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨竜支所 TEL 0125-77-2331  
深川支所 TEL 0164-22-2171 北竜支所 TEL 0164-34-2280  
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024